

令和4年度  
事業報告書

社会福祉法人 小城市社会福祉協議会

## 目 次

経理区分	No.	事業名	ページ
法人運営事業	1	理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催	3
	2	社協会費	4
	3	一般寄付金・香典返し寄付金の受付	5
	4	社協広報誌「社協だより(絆)」の発行	6
	5	日本赤十字社事務の協力	7
	6	赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金	8
地域福祉活動事業	7	民生委員児童委員連絡協議会への支援	10
	8	児童遊園地施設整備(新設・補修・撤去)助成	12
	9	新生児祝い品贈呈事業	13
	10	地域ふれあいサロン事業(各地区公民館で自主運営)	14
	11	弁護士無料法律相談の開設	16
	12	社会福祉功労者表彰式	17
	13	福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)	18
	14	ボランティアセンター事業	19
	15	学校ボランティア育成事業	21
	16	福祉教育推進事業	23
	17	支えあいセンター事業	27
福祉資金貸付事業	18	生活福祉資金貸付事業	30
	19	福祉資金貸付事業	31
小城市受託事業	20	軽度生活支援事業及び地域生活応援業務	33
	21	生きがい活動支援通所事業(南部生きがいデイサービス)	34
	22	障害者移送サービス事業	35
	23	愛の一声運動推進事業	37
	24	高齢者ふれあいサロン事業	38
	25	子育て相互支援事業	40
	26	地域子育て支援拠点事業	41
	27	小城保健福祉センター「桜楽館」の管理・経営	42
	28	芦刈保健福祉センター「ひまわり」の管理・経営	43
	29	高齢者生きがいづくり講座事業	44
	30	小城・多久障害者相談支援事業	45
31	生活困窮者自立相談支援事業(生活自立支援センター)	47	
中部広域連合受託事業	32	南部地域包括支援センター事業(おたっしや本舗小城南)	49
介護保険事業	33	居宅介護支援事業	53

# 法人運営事業

## 令和4年度 事業報告

事業名	理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催		
期 日	年間 理事会 3回、評議員会 1回、評議員選任・解任委員会 1回		
場 所	小城保健福祉センター「桜楽館」研修室		
参加者	理事、監事、評議員、 評議員選任・解任委員	担当者	事務局長、課長、係長、総務係
目 的	事業計画や予算など、本会の重要な方針を決定する。		
実施内容	<p>◆理事会</p> <p>①令和4年5月27日(金) (理事 9人、監事 2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長執務状況報告</li> <li>・令和3年度社会福祉法人指導監査の結果</li> <li>・評議員会の招集</li> <li>・理事候補者の選定</li> <li>・評議員候補者の推薦</li> <li>・評議員選任・解任委員会の招集</li> <li>・令和3年度事業報告及び一般会計決算報告</li> </ul> <p>②令和4年12月16日(金) (理事 10人、監事 2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経理規程の一部改正</li> <li>・給与規程の一部改正</li> <li>・表彰規程の一部改正</li> <li>・令和4年度一般会計第1次補正予算</li> </ul> <p>③令和5年3月23日(木) (理事 8人、監事1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長職務執行状況報告</li> <li>・令和4年度社会福祉法人指導監査の結果及び改善状況について</li> <li>・役員等賠償責任保険の契約</li> <li>・給与規程の一部改正</li> <li>・令和4年度一般会計第2次補正予算</li> <li>・令和5年度事業計画及び一般会計予算</li> </ul> <p>◆定時評議員会</p> <p>①令和4年6月13日(月) (評議員 17人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事の補欠選任</li> <li>・令和3年度事業報告及び一般会計決算報告</li> </ul> <p>◆評議員選任・解任委員会</p> <p>①令和4年6月13日(月) (委員 5人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員の補欠選任</li> </ul>		
特記事項 (課題等)	本会が保有する表書規程で表彰対象年数の見直しや表彰者を選考するため審査会などの見直しや経理規程、給与規程等の見直しを行った。		

## 令和4年度 事業報告

事業名	社協会費																							
期 日	普通会費(5月)、団体・賛助会費(通年)																							
依 頼 先	小城市内各区長、団体代表、企業・事業者代表																							
対 象	市内全世帯、各種団体、企業・事業所	担当者	総務係、各支所担当																					
実施内容	<p>1. 目 的            本会の事業推進に貴重な財源を「社協会員」である地域の皆様に納入していただき、社会福祉事業に参加していただく。</p> <p>2. 内 容            ・市内181行政区の区長へ依頼            ・一世帯あたり400円の戸別会費のお願いをする。            ・社協会費は、児童福祉・高齢者福祉・ボランティア活動支援・地域福祉サービス等に活用する。            ・賛助会費や団体会費を各種団体、企業・事業者をお願いする。</p> <p>3. 実 績</p> <p style="text-align: center;">【普通会員会費】一世帯 400円</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 30%;">世帯数</th> <th style="width: 30%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小城町</td> <td>4,193世帯</td> <td>1,677,200円</td> </tr> <tr> <td>三日月町</td> <td>3,614世帯</td> <td>1,445,600円</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>2,682世帯</td> <td>1,072,800円</td> </tr> <tr> <td>芦刈町</td> <td>1,622世帯</td> <td>648,800円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度 合計</td> <td>12,111世帯</td> <td>4,844,400円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td>令和3年度 合計</td> <td>12,267世帯</td> <td>4,906,800円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 20px;">【賛助会費】一口1,000円(企業・事業者へ依頼)            令和4年度 173,000円(30件)            令和3年度 182,000円(30件)</p> <p>【団体会費】一口1,000円(市内の福祉団体へ依頼)            令和4年度 61,000円(13団体)            令和3年度 62,000円(13団体)</p>				世帯数	金 額	小城町	4,193世帯	1,677,200円	三日月町	3,614世帯	1,445,600円	牛津町	2,682世帯	1,072,800円	芦刈町	1,622世帯	648,800円	令和4年度 合計	12,111世帯	4,844,400円	令和3年度 合計	12,267世帯	4,906,800円
	世帯数	金 額																						
小城町	4,193世帯	1,677,200円																						
三日月町	3,614世帯	1,445,600円																						
牛津町	2,682世帯	1,072,800円																						
芦刈町	1,622世帯	648,800円																						
令和4年度 合計	12,111世帯	4,844,400円																						
令和3年度 合計	12,267世帯	4,906,800円																						
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月26日(火)午後より2部に分かれて開催された区長会議において、納入依頼を行った。また、賛助会費や団体会費について、企業や事業所、福祉団体に依頼を行った。</li> <li>・会費使途を社協だよりやホームページで報告し、市民の皆様には地域福祉活動へ理解と協力を求めていく。</li> </ul>																							

## 令和4年度 事業報告

事業名	一般寄付金・香典返し寄付金の受付																										
期 日	通年																										
対 象	市内全域	担当者	総務係、各支所担当																								
実施内容	<p>1. 目的                  本会の福祉事業を推進する上で貴重な財源となっているので、本所・各支所で受付を行っている。</p> <p>2. 内容                  香典返し寄付金及び一般寄付金の受付</p> <p>3. 実績</p> <p>    【香典返し寄付金】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年 度</th> <th style="text-align: center;">件 数</th> <th style="text-align: center;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">令和4年度</td> <td style="text-align: center;">235件</td> <td style="text-align: right;">3,850,077円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> <td style="text-align: center;">207件</td> <td style="text-align: right;">3,409,460円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">対前年比較</td> <td style="text-align: center;">28件の増</td> <td style="text-align: right;">440,617円の増</td> </tr> </tbody> </table> <p>    【一般寄付金】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年 度</th> <th style="text-align: center;">件 数</th> <th style="text-align: center;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">令和4年度</td> <td style="text-align: center;">6件</td> <td style="text-align: right;">151,008円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> <td style="text-align: center;">9件</td> <td style="text-align: right;">224,130円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">対前年比較</td> <td style="text-align: center;">3件の減</td> <td style="text-align: right;">73,122円の減</td> </tr> </tbody> </table> <p>    【香典返し寄付金へ弔慰品】 線香セット                  令和4年度 延220個                  令和3年度 延182個</p>			年 度	件 数	金 額	令和4年度	235件	3,850,077円	令和3年度	207件	3,409,460円	対前年比較	28件の増	440,617円の増	年 度	件 数	金 額	令和4年度	6件	151,008円	令和3年度	9件	224,130円	対前年比較	3件の減	73,122円の減
年 度	件 数	金 額																									
令和4年度	235件	3,850,077円																									
令和3年度	207件	3,409,460円																									
対前年比較	28件の増	440,617円の増																									
年 度	件 数	金 額																									
令和4年度	6件	151,008円																									
令和3年度	9件	224,130円																									
対前年比較	3件の減	73,122円の減																									
特記事項 (課題等)	<p>毎年減少していた香典返しの寄付件数及び寄付額が、前年に対して増加した。今後も地域福祉活動を行う上で貴重な財源なので、協力をお願いしていく。</p>																										

## 令和4年度 事業報告

事業名	社協広報誌「社協だより（絆）」の発行										
発行	年6回（奇数月）										
依頼先	市内各区長										
配布先	市内全戸、広告掲載事業所	担当者	広報委員、総務係								
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発										
実施内容	<p>1. 目的</p> <p style="padding-left: 20px;">広報誌で社協の事業や取り組みなどを紹介し、市民の地域福祉活動への理解を深めてもらう。</p> <p>2. 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年6回（奇数月）発行。区長文書発送により、市内全戸へ配布。</li> <li>・社協事業、取組み事例、ボランティア情報、イベント情報等を掲載。</li> <li>・印刷代の一部は、赤い羽根共同募金配分金で行った。</li> </ul> <p>3. 発行日（年6回）</p> <p style="padding-left: 20px;">5月20日・7月20日・9月20日・11月18日・1月20日 3月20日</p> <p>4. 発行部数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">5・7月号</td> <td style="text-align: right;">各16,300部</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">9月号</td> <td style="text-align: right;">16,320部</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">11月号</td> <td style="text-align: right;">16,350部</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1・3月号</td> <td style="text-align: right;">各16,400部</td> </tr> </table> <p>5. 広告費収入</p> <p style="padding-left: 20px;">50,000円×年6回＝300,000円</p> <p style="padding-left: 20px;">市内の福祉施設・医療機関・行政書士の広告を掲載。</p>			5・7月号	各16,300部	9月号	16,320部	11月号	16,350部	1・3月号	各16,400部
5・7月号	各16,300部										
9月号	16,320部										
11月号	16,350部										
1・3月号	各16,400部										
特記事項（課題等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページにも社協だよりを掲載し福祉情報を発信した。</li> <li>・令和4年11月で100号を迎えることが出来た。これからも、市民の皆様へ福祉情報の提供を行い、社協活動の啓発を行っていく。</li> </ul>										

## 令和4年度 事業報告

事業名	日本赤十字社事務の協力														
期 間	会費募集期間 5月														
依 頼 先	小城市内各区長														
対 象 者	市内全世帯	担当者	総務係、各支所担当												
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発														
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>日本赤十字社は、国の内外において災害や紛争などによる被災者や難民を救援するため、医療救護班の派遣や資金・物資の提供など人道的事業の活動を行っている。これらの事業を実施するために日赤会費納入の協力を行う。</p> <p>2. 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内181の行政区の区長へ依頼。</li> <li>・一世帯あたり 600円の日赤会費のお願いをする。</li> </ul> <p>3. 日赤会費実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">年 度</th> <th style="width: 25%;">世帯数</th> <th style="width: 50%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>11,991世帯</td> <td>7,194,900円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>11,889世帯</td> <td>7,133,400円</td> </tr> <tr> <td>比 較</td> <td>102世帯の増</td> <td>61,500円の増</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 災害・火災見舞金品の贈呈（火災 3件 3棟全焼）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急セット 3組</li> <li>毛 布 6枚</li> <li>バスタオル 6枚</li> <li>日赤県支部より火災見舞 全焼 30,000円</li> </ul>			年 度	世帯数	金 額	令和4年度	11,991世帯	7,194,900円	令和3年度	11,889世帯	7,133,400円	比 較	102世帯の増	61,500円の増
年 度	世帯数	金 額													
令和4年度	11,991世帯	7,194,900円													
令和3年度	11,889世帯	7,133,400円													
比 較	102世帯の増	61,500円の増													
特記事項 (課題等)	・災害義援金受付窓口を設置中														



## 令和4年度 事業報告

事業名	赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金		
期 間	募金運動 10月～12月 配分事業: 通年		
依 頼 先	戸別募金 小城市内各区長 市内の企業・事業所、学校等の職域		
対 象 者	市内全世帯 企業・事業所、学校の従事者	担当者	各支所、総務係、ボランティア担当
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発		
実施内容	1. 実施内容		
	戸別募金 市内181の行政区の区長へ依頼。 一世帯あたり、赤い羽根共同募金 350円、 地域歳末たすけあい募金 100円をお願いする。		
	法人募金 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、口座振込での納入を依頼する。		
	学校・職域募金 資材購入等による募金の依頼する。		
	2. 募金実績		
	【赤い羽根共同募金】		
		令和4年度	令和3年度
	戸別募金	4,329,200 円	4,325,850 円
	法人募金	731,703 円	801,000 円
	資材・職域募金	547,816 円	576,812 円
	学校募金	165,389 円	189,052 円
	個人募金・利息他	36,451 円	48,301 円
	合 計	5,810,559 円	5,941,015 円
	※前年度より130,456円の減		
	【地域歳末たすけあい募金】		
	令和4年度	令和3年度	
戸別募金	1,236,000 円	1,235,900 円	
個人・団体	60,675 円	38,955 円	
合 計	1,296,675 円	1,274,855 円	
※前年度より21,820円の増			
【地域歳末たすけあい募金 配分報告】			
市内全幼稚園・保育園へ遊具贈呈	347,504 円		
地域ふれあいサロン助成金（25か所）	250,000 円		
ふれあいサロン ゲーム購入	92,840 円		
支えあいセンターチケット作成	81,345 円		
子育てサロン（おもちゃ、ベビーカーなど）	97,834 円		
緊急かつ一時的支援のための食品備蓄	112,429 円		
新生児誕生祝い品	317,350 円		
合 計	1,299,302 円		
特記事項 (課題等)	・赤い羽根共同募金は、区長会や民生委員・児童委員、ボランティア協議会、各種団体などのご協力をいただいています。これからも、共同募金運動の必要性について、ご理解をいただけるよう周知を行っていく。		

# 地域福祉活動事業

## 令和4年度 事業報告

事業名	民生委員児童委員連絡協議会への支援
期 日	通年
担当者	総務係 原、各支所民協担当
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 民生委員・児童委員の活動支援
実施内容	<p>1. 目的 民生委員・児童委員92人(民生委員・児童委員84人、主任児童委員8人)相互の親睦を図り、民生委員信条に則り、地域福祉の健全な発展・向上に寄与する。</p> <p>2. 内容 ①民生委員・児童委員の資質向上を図るための研修会等の実施 ②地域福祉に関係ある行政機関及び諸団体との連絡、提携及び協力 ③民生委員・児童委員相互の親睦、連携を図るための事業 ④一斉改選に伴う新任民生委員・児童委員、主任児童委員へ社協との関わりの説明やフォローアップ等 ⑤その他、目的達成のために必要な事業</p> <p>3. 活動内容 (1)総会の開催 日時 4月21日(木) 場所 ドウイング三日月「多目的ホール」</p> <p>(2)市民協役員会 第1回 6月8日(水) 小保健福祉センター「桜楽館」 研修室 第2回 8月3日(水) " 研修室 第3回 10月5日(水) " 研修室 第4回 12月7日(水) " 研修室 第5回 2月1日(水) " 研修室</p> <p>(3)研修会等 ①全体研修会(総会終了後) 日時 4月21日(木) 場所 ドウイング三日月「多目的ホール」 演題 「特殊詐欺に遭わないように」 寸劇 CSO子個老癒やし隊 講話 佐賀県警察本部生活安全企画課 圓城寺敏典 氏</p> <p>②心豊かな子どもを育てる運動研修会 日時 9月2日(金) 場所 ドウイング三日月「多目的ホール」 演題 「小城市子ども支援センターの現状について」 講師 小城市子ども支援センター センター長 古賀 一 哉 氏</p>

	<p>③市民協役員研修会  日時 9月29日(木)  ・佐賀防災学習広場(佐賀広域消防局 佐賀消防署内)  ・佐賀城本丸歴史館(佐賀市城内)</p> <p>④第91回全国民生委員児童委員大会  日時 10月18日(火)～20日(木)  場所 名古屋国際会議場(愛知県名古屋市)</p> <p>⑤令和4年度 民生委員・児童委員セミナー  日時 11月2日(水)  場所 佐賀市文化会館「中ホール」</p> <p>⑥新任民生委員・児童委員研修会  日時 2月28日(火)  場所 佐賀市文化会館「大ホール」</p> <p>⑦主任児童委員研修会  日時 3月7日(火)  場所 佐賀市文化会館「イベントホール」</p> <p>4. 各町単位民生委員児童委員協議会の運営  役員会、定例会などの実施</p>
<p>特記事項 (課題等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員の任期は3年で、令和4年12月1日に民生委員・児童委員及び主任児童委員の委嘱状伝達式がゆめぷらっと小城で開催された。</li> <li>・研修会などについて、令和3年度までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していたが、令和4年度は感染拡大防止に努め開催した。</li> </ul>

## 令和4年度 事業報告

事業名	児童遊園地施設整備(新設・補修・撤去)助成															
期 日	通年															
場 所	小城市内全域															
担 当 者	地域福祉推進係 陣内															
実施内容	<p>1. 目的 小城市内の区が管理する児童遊園地遊具の新設、補修及び撤去事業に対し、その経費の一部を助成することで児童の健全育成に寄与することを目的とする。</p> <p>2. 助成基準 ①新設する場合は、総事業費の3分の2で 30万円を限度とする。 ②補修する場合は、総事業費の2分の1で 8万円を限度とする。 ③撤去する場合は、総事業費の2分の1で 5万円を限度とする。</p> <p>3. 実績(新設 2件、補修 2件、撤去 1件)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">区分</th> <th style="text-align: left;">助成地区</th> <th style="text-align: right;">助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新設</td> <td>三日月町:長神田 芦刈町:西戸崎</td> <td style="text-align: right;">432,000円</td> </tr> <tr> <td>補修</td> <td>小城町:江里口 三日月町:吉原</td> <td style="text-align: right;">150,000円</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>牛津町:友田</td> <td style="text-align: right;">50,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; border-top: 1px solid black;">助成額計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">632,000円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	助成地区	助成額	新設	三日月町:長神田 芦刈町:西戸崎	432,000円	補修	小城町:江里口 三日月町:吉原	150,000円	撤去	牛津町:友田	50,000円	助成額計		632,000円
区分	助成地区	助成額														
新設	三日月町:長神田 芦刈町:西戸崎	432,000円														
補修	小城町:江里口 三日月町:吉原	150,000円														
撤去	牛津町:友田	50,000円														
助成額計		632,000円														
特記事項 (課題等)	<p>遊具の状況確認を行い、緊急性や危険性などを勘案し助成をしている。毎年度、一定の相談があり今後も必要な事業と考えられるため、共同募金等の財源確保に努める必要がある。</p>															

## 令和4年度 事業報告

事業名	新生児祝い品贈呈事業
期 日	通年
配布場所	小城市役所 西館 市民課窓口
担当者	地域福祉推進係 井上
実施内容	<p>1. 目 的 新生児の健全な育成と親子の絆づくりを目的とする。</p> <p>2. 内 容 出生届の提出の際に、読んで聞かせたい絵本を贈呈する。</p> <p>3. 対象者 新生児の保護者</p> <p>4. 主 催 小城市社会福祉協議会</p> <p>5. 市の窓口設置数 490冊(令和3年度 370冊)</p>
特記事項 (課題等)	<p>保護者が絵本を読んであげることで、子どもの健全な発達を助長し、親子間でよりよいコミュニケーションが取れる。</p> <p>2人目、3人目の誕生時にも対応できるように5種類の絵本を取り揃え、好きな絵本を選ぶことが出来るようにしている。</p> <p>令和3年度も例年と変わらず、仕掛け絵本に人気が集まり、配付数も増えた。</p> <p>今後も喜ばれるようにしていきたい。</p>

## 令和4年度 事業報告

事業名	地域ふれあいサロン事業(各地区公民館で自主運営)		
期 日	通年		
開催場所	小城市内各地区 公民館		
対象者	各地区(自治会高齢者)、老人会等	担当	ふれあいサロン係 野田・中原・嘉村・秋山
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 交流の場の普及		
実施内容	1. 目 的 各地区で、高齢者の通いの場(ふれあいサロン)をつくることで、住民同士のつながりと助け合い活動の普及をする。 2. 内 容 各地区の公民館に出向き、健康・福祉の情報提供や住民同士の助け合い活動の必要性について認識してもらえよう説明をする。 テーマ ・地域の交流について ・介護予防・認知症予防の体操・運動について		
活動概要	<b>【活動内容】</b> ・各地区公民館へ出向き、介護予防・認知症予防や福祉・健康についての情報提供、レクリエーション活動、いきいき百歳体操の紹介などを行っている。 ・参加者から気がかり情報を聴き、関係機関と連携して支援をしている。 <b>【効果】</b> ・介護予防・認知症予防について、専門的な情報を聞いたり効果的な体操をしたりといった早期に取り組むことの必要性が理解されてきている。 ・地区での住民同士の交流の場・通いの場づくりに対して取り組む意識が向上している。 ・ふれあいサロンへの参加が、介護予防・認知症予防・閉じこもり防止につながっていることが認識されている。 <b>【課題】</b> ・ふれあいサロンの必要性は理解されても、自主的に運営を行っていく世話役(リーダー的存在)となる人が少なく、参加者の高齢化もあり、地区で主体的に取り組みやすい方法や考え方の支援・検討が必要だと思われる。 ・感染症の予防に努めながら活動を行う必要がある。		

地域ふれあいサロン実績報告(各地区公民館で自主運営)

	実施地区	実施回数	参加者数	各町内訳			
				【小城】	【三日月】	【牛津】	【芦刈】
令4年度	46地区	461回	4,033人	19地区	14地区	8地区	5地区
				190回	133回	85回	53回
				1,467人	919人	1,257人	390人
令和3年度	47地区	372回	3,410人	19地区	13地区	10地区	5地区
				151回	103回	70回	48回
				1,217人	744人	1,049人	400人

保健福祉センターふれあいサロン実績報告

	実施か所	実施回数	参加者数	各町センター内訳			
				【桜楽館】	【ゆめりあ】	【アイル】	【ひまわり】
				月・水・金	開催なし	水曜日	水曜日
令和4年度	3か所	141回	868人	93回		37回	11回
				711人		134人	23人
令和3年度	3か所	133回	890人	84回		32回	17回
				711人		145人	34人



## 令和4年度 事業報告

事業名	弁護士無料法律相談の開設																							
期 日	通年	担当者	地域福祉推進係 井上 各支所担当者																					
開催場所	社会福祉協議会 各支所(月1回 各町まわし)																							
地域福祉 活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と 権利擁護の推進																							
実施内容	1. 目的 家庭・金銭・相続・登記などの法律に関する困りごとや心配ごとに対し、弁護士が指導および助言を行い、その問題の解決又は解決の糸口となることを目的として開設する。 2. 内容 1回につき6人まで(1人30分以内)を限度に、法律に関する困りごとに対して、小城市内に事務所を置く弁護士による法律相談支援を行う。 3. 対象者 小城市内在住者 4. 利用料 無料 5. 主催 小城市社会福祉協議会 6. 協力 法律事務所かくすけ、吉丸法律事務所 7. 予算額 360,000円 (10,000円×3時間×12人) 8. 相談実績 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 30%;">開催回数</th> <th style="width: 30%;">相談者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小城市</td> <td>3回</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>三日月町</td> <td>3回</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>3回</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>芦刈町</td> <td>3回</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>12回</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>12回</td> <td>68人</td> </tr> </tbody> </table>				開催回数	相談者数	小城市	3回	15人	三日月町	3回	16人	牛津町	3回	17人	芦刈町	3回	17人	令和4年度	12回	65人	令和3年度	12回	68人
	開催回数	相談者数																						
小城市	3回	15人																						
三日月町	3回	16人																						
牛津町	3回	17人																						
芦刈町	3回	17人																						
令和4年度	12回	65人																						
令和3年度	12回	68人																						
特記事項 (課題等)	継続相談時の利用者の利便性などを考慮し、小城市内で法律相談をされている2人の弁護士の方に協力いただき事業を実施した。相談者は令和3年度より減少した。																							

## 令和4年度 事業報告

事業名	令和4年度小城市社会福祉功労者表彰式																																
日時	3月8日(水) 10時00分から11時30分																																
場所	小城保健福祉センター「桜楽館」多目的ホール																																
参加人員	51人																																
担当者	地域福祉推進係 陣内																																
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 福祉の啓発と福祉教育の推進																																
実施内容	<p>1. 目的 永年にわたり、小城市の民生の安定や社会福祉事業に従事・貢献され、小城市の社会福祉の向上に尽くされた方々を顕彰し、感謝の意を表すため、表彰式を開催する。</p> <p>2. 表彰</p> <p>(1) 個人表彰</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">①社会福祉協議会評議員(8年以上)</td> <td style="text-align: right;">1人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">②民生委員・児童委員(8年以上)</td> <td style="text-align: right;">11人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">②福祉団体役員及びボランティア役員(8年以上)</td> <td style="text-align: right;">3人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">③子育てサポーター(8年以上)</td> <td style="text-align: right;">6人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">計 21人</td> </tr> </table> <p>(2) 団体表彰</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">①地域福祉活動優良団体(10年以上)</td> <td style="text-align: right;">3団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">②ボランティア団体(10年以上)</td> <td style="text-align: right;">2団体</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">計 5団体</td> </tr> </table> <p>3. 表彰審査会委員</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小城市社会福祉協議会</td> <td style="padding-left: 10px;">会長</td> <td style="padding-left: 10px;">古賀</td> <td style="padding-left: 10px;">敬介</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小城市社会福祉協議会</td> <td style="padding-left: 10px;">副会長</td> <td style="padding-left: 10px;">今村</td> <td style="padding-left: 10px;">洋行</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小城市社会福祉協議会</td> <td style="padding-left: 10px;">副会長</td> <td style="padding-left: 10px;">南里</td> <td style="padding-left: 10px;">光子</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小城市社会福祉協議会</td> <td style="padding-left: 10px;">評議員</td> <td style="padding-left: 10px;">野田</td> <td style="padding-left: 10px;">理津子</td> </tr> </table>	①社会福祉協議会評議員(8年以上)	1人	②民生委員・児童委員(8年以上)	11人	②福祉団体役員及びボランティア役員(8年以上)	3人	③子育てサポーター(8年以上)	6人		計 21人	①地域福祉活動優良団体(10年以上)	3団体	②ボランティア団体(10年以上)	2団体		計 5団体	小城市社会福祉協議会	会長	古賀	敬介	小城市社会福祉協議会	副会長	今村	洋行	小城市社会福祉協議会	副会長	南里	光子	小城市社会福祉協議会	評議員	野田	理津子
①社会福祉協議会評議員(8年以上)	1人																																
②民生委員・児童委員(8年以上)	11人																																
②福祉団体役員及びボランティア役員(8年以上)	3人																																
③子育てサポーター(8年以上)	6人																																
	計 21人																																
①地域福祉活動優良団体(10年以上)	3団体																																
②ボランティア団体(10年以上)	2団体																																
	計 5団体																																
小城市社会福祉協議会	会長	古賀	敬介																														
小城市社会福祉協議会	副会長	今村	洋行																														
小城市社会福祉協議会	副会長	南里	光子																														
小城市社会福祉協議会	評議員	野田	理津子																														
特記事項	<p>従来は、小城市福祉大会で表彰を行ってきたが、コロナ禍の長期化により、福祉大会の開催が難しいため、開催規模を縮小し令和4年度小城市社会福祉功労者表彰式のみを開催する。</p> <p>表彰規程に表彰審査会の設置を追加し、表彰者の選考・決定できるように見直を図る。</p> <p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症も類型の見直しが行われる予定のため、福祉大会を開催する予定。内容を検討しより充実した、福祉大会なるように努める。</p>																																

## 令和4年度 事業報告

<b>事業名</b>	福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)										
<b>期 日</b>	通年										
<b>担 当 者</b>	地域福祉推進係 陣内										
<b>地域福祉活動計画</b>	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援と権利擁護の推進										
<b>実施内容</b>	<p>1. 目的 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が低下されている方を対象に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の援助などを行うことを目的として実施する。</p> <p>2. 事業の取り組み ①佐賀県社会福祉協議会からの受託事業 ②利用者の希望に基づいた計画書により、生活支援員が金銭の支払いや簡単な福祉サービスの利用手続きなどを支援する。</p> <p>3. 利用料 ○1時間以内 1,200円 ○以降30分毎に 600円を加算 ○生活支援員の交通費 37円/km ○貸金庫(佐賀銀行小城支店) 350円/月 ※生活保護世帯は利用料を免除</p> <p>4. 現在の状況(令和5年3月31日現在)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">契 約 件 数</td> <td style="text-align: center;">認知症高齢者 0件 (生活保護受給者 0件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">知的障がい者 4件 (生活保護受給者 4件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">精神障がい者 4件 (生活保護受給者 4件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和4年度 新規契約</td> <td style="text-align: center;">2件 (生活保護受給者 2件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和4年度 解 約</td> <td style="text-align: center;">4件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">年度末の生活支援員</td> <td style="text-align: center;">2人</td> </tr> </table> <p>5. 相談件数 延べ301件(令和3年度 408件) (認知症高齢者31件 知的障がい者136件 精神障がい者134件)</p>	契 約 件 数	認知症高齢者 0件 (生活保護受給者 0件)	知的障がい者 4件 (生活保護受給者 4件)	精神障がい者 4件 (生活保護受給者 4件)	令和4年度 新規契約	2件 (生活保護受給者 2件)	令和4年度 解 約	4件	年度末の生活支援員	2人
契 約 件 数	認知症高齢者 0件 (生活保護受給者 0件)										
	知的障がい者 4件 (生活保護受給者 4件)										
	精神障がい者 4件 (生活保護受給者 4件)										
令和4年度 新規契約	2件 (生活保護受給者 2件)										
令和4年度 解 約	4件										
年度末の生活支援員	2人										
<b>特記事項</b>	<p>判断能力に不安がある方にとっては、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理など必要な事業である。従来は、認知症高齢者の相談が多かったが、知的障がい者、精神障がい者に関する相談が増えてきている。</p> <p>この事業だけでは、解決できないこともあり、関係機関と連携し支援を進めていく必要がある。</p>										

## 令和4年度 事業報告

事業名	ボランティアセンター事業
期 日	通年
担 当 者	地域福祉推進係 井上・松尾
地域福祉活動計画	基本目標      みんなで支える地域づくり 基本施策      ボランティア活動の推進
実施内容	<p>1. 目 的</p> <p>小城市内におけるボランティア活動を推進するため、あらゆる機会を通じてボランティア活動に対する住民の関心を高め、住民のニーズを積極的に開拓する。また、活動にあたって必要な援助を行うことにより、いつでも、どこでも、誰でも、ボランティア活動に参加できる体制の整備に努め、もって地域における福祉コミュニティの形成を図る。</p> <p>2. 内 容</p> <p>〈ボランティア情報〉</p> <p>社協だより「絆」(年6回発行)に現在のボランティアグループの情報や新登録グループの情報、イベント情報などを掲載し、普及啓発を図る。</p> <p>〈ボランティアの拠点づくり〉</p> <p>各町にボランティアルームを設置し、ボランティア活動の推進を図る。</p> <p>〈相談・登録・斡旋〉</p> <p>内容 ボランティア活動上の調整、施設への派遣依頼、学校への派遣依頼・調整、個人対応のボランティア派遣依頼・調整などボランティア活動の内容、見学等について</p> <p>斡旋 延べ55件 (ボランティア2件、学校7件、児童クラブ46件)</p> <p>〈24時間テレビチャリティー募金活動支援〉</p> <p>新型コロナウイルス感染対策を行いながら、街頭募金や募金箱設置による活動を行うことができた。</p> <p>小城中学校            (活 動 日)8月27日(土)            (活動場所)セブンイレブン小城中央店、セブンイレブン小城畑田店            スーパーモリナガ小城店</p> <p>三日月中学校            (活 動 日)8月27日(土)            (活動場所)ザ・ビッグ三日月店</p>

<p>実施内容</p>	<p>〈講座開催〉</p> <p>○傾聴講習会 ボランティアの基本である傾聴について、講義や参加者同士のグループワークを通して自身の聴き方を振り返り、傾聴に必要なスキル、考え方を学び、より一層のボランティア活動の推進につなげる。 (開催日) 3月25日(土) (参加者) 18名</p> <p>○生活支援ボランティア養成講座 地域の高齢者のちよっとだけ困っていることを解決するボランティアの養成および現在活動されているボランティアのスキルアップを図る。 (開催日) 6月24日(金)、9月16日(金)、9月28日(水)、10月5日(水)、 10月7日(金)、10月12日(水)、10月25日(火) (参加者) 延べ 110人</p> <p>〈小城市ボランティア連絡協議会 事務局業務〉 小城市ボランティア連絡協議会事務局として、各団体の活動推進に寄与する。 登録グループ数 34グループ 646人(個人ボランティア含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小城支部 ふれあい会食会 中止 (高齢者へアルコール除菌シート配付)</li> <li>・三日月支部 ふれあいの集い 放課後児童クラブ交流会 中止 (高齢者へは会員手作りのお雛様人形、児童へはクッキーを配付)</li> <li>・おはなしフェスタおぎ 中止</li> <li>・ボランティアフェスタ 11月17日(木) 牛津公民館で武雄市レクリエーション協会より講師を招き、ボランティア活動に関する心構えやレクリエーション行い、会員同士の交流を行う。</li> </ul> <p>〈ボランティア保険取扱業務〉 ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償を取扱い、ボランティア活動時の事故等に備える。 加入者数 活動保険(延べ 490人)、行事用保険(6件 延べ 308人)</p>
<p>特記事項 (課題等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度もコロナ禍ではあったが、徐々にボランティアの依頼が増加した。</li> <li>・ボランティア連絡協議会総会は役員のみで開催し、ボランティアフェスタは感染症対策を行いながら、実施することができた。</li> <li>・会員向け研修会は規模を縮小し役員のみで開催し、各町の役員から内容を伝えていただいた。</li> <li>・コロナ禍でなかなか活動機会出来なかったことや会員の高齢化によりいくつかのボランティア団体が活動休止、解散となった。これからは、ボランティアセンターとしても活動機会の創出、適切な相談対応などを行っていきたい。</li> <li>・養成講座等は感染症対策を徹底し開催した。</li> </ul>

## 令和4年度 事業報告

事業名	学校ボランティア育成事業
担当者	地域福祉推進係 井上、松尾
地域福祉活動計画	基本目標      みんなで支える地域づくり 基本施策      福祉啓発と福祉啓発の推進
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>    少子高齢化の急速な進展に加え、核家族化の進行により家庭環境の変化と地域力の低下が進む中、市民が安心・安全に豊かに生活ができるように、地域社会で顔なじみになり、お互い支え合いの仕組みを構築することが重要である。</p> <p>    そのため次代を担う、児童・生徒に対し、福祉教育の充実とボランティア活動(市民活動)の機会や地域の人との交流を深め、たくましく豊かな心を育むことを目的とする。</p> <p>2. 内容</p> <p>    市内の小・中学校及び高等学校14校をボランティア活動協力校に指定し、各学校独自に計画したプログラムを実施するための費用を助成する。</p> <p>    また、社会福祉協議会として各学校のプログラムに協力し、高齢者・障がい者の理解につながる支援・指導を行う。</p> <p>3. 参加対象者 市内小・中学校及び高等学校のボランティア担当教諭および児童・生徒</p> <p>4. 主 催 小城市社会福祉協議会</p> <p>5. 予 算 560,000円(活動助成金)</p>
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に引き続き、学校ボランティア連絡会は新型コロナウイルス感染拡大予防のため開催せず、申請書類の送付及び必要な学校への個別訪問を行った。</li> <li>・各学校で様々な活動が行われており、感染症対策を行いながら徐々に校外活動を実施される学校が増えてきた。</li> <li>・福祉体験学習は「福祉教育推進事業」として新しくプログラムを作り、授業を希望される学校で実施した。</li> </ul>

令和4年度 小城市学校ボランティア育成事業協力校 助成金交付一覧

学校名	助成額	主な活動
桜岡小学校	40,000円	花の植え替え 地域の保育園、ゆめぷらっと小へプランターの贈呈 ユニセフ募金 赤い羽根共同募金
岩松小学校	40,000円	募金活動 環境美化活動 地域の保育園との交流 プランターのプレゼント
晴田小学校	40,000円	花いっぱい活動 募金活動 一方通行看板作成 晴田支館の清掃活動
三里小学校	40,000円	花いっぱい運動 環境美化活動 クリーン作戦 アルミ缶、ペットボトルキャップ回収
三日月小学校	40,000円	福祉体験学習 環境美化活動 募金活動 プルタブ、書き損じはがき等回収活動
牛津小学校	40,000円	環境美化活動 アルミ缶回収 白い羽根、赤い羽根、トルコ・シリア地震募金活動
砥川小学校	40,000円	花いっぱい運動 募金活動 交通安全マスコット作り 石工の里保存を訴えるカレンダー作り、募金活動 子ども110番の家へのもち配り
芦刈観瀾校小学部	40,000円	ベルマーク、ペットボトルキャップ収集 ワールドギフト募集 花いっぱい運動
小城中学校	40,000円	花いっぱい運動 赤い羽根共同募金 24時間テレビチャリティー募金
三日月中学校	40,000円	ボランティア清掃活動 ユニセフ募金 花植え 24時間テレビチャリティー募金
牛津中学校	40,000円	花いっぱい運動 るんぴに園へ花を届ける 牛津ルーテルこども園訪問
芦刈観瀾校中学部	40,000円	ペットボトルキャップ回収 花いっぱい運動 ダルニー奨学金 ワールドギフト活動
小城高等学校	40,000円	白い羽根、赤い羽根共同募金 校内清掃活動 地域の河川清掃(春・秋) 小城ようかん祭り、小城 ルーテルこども園イベント、竹灯り運営補助 岡山神社、須賀神社、小城駅清掃活動
牛津高等学校	40,000円	家庭クラブ便り、校内新聞作成 プランター設置 スクールプロジェクト 町内美化活動 お弁当掛け紙絵作成 歳末たすけあい募金 施設訪問 ランチョンマット作成及び地域の高齢者 へ配付
計	560,000円	

## 令和4年度 事業報告

事業名	福祉教育推進事業
担当者	地域福祉推進係 井上、松尾
地域福祉活動計画	基本目標      みんなで支える地域づくり 基本施策      福祉の啓発と福祉教育の推進
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>    少子高齢化の急速な進展に加え、核家族化の進行により家庭環境の変化と地域力の低下が進む中、市民が安心・安全に豊かに生活ができるように、地域社会で顔なじみになり、お互い支え合いの仕組みを構築することが重要である。</p> <p>    その中で高齢者や障がい者、支援者とともに、学齢期における福祉についての学びを深めることで、排除しない地域共生社会づくりに努めることを目的とする。</p> <p>2. 内容</p> <p>    小城市人権擁護委員や障がい当事者、障がい者の支援を行うボランティアグループなどと協力し作ったプログラム(導入～体験～振り返りまとめ)を小城市内小・中学校へ配付し、希望される学校へ出向き、学びの授業を行う。(各単元の講師は社協、ボランティアで行う。)</p> <p>3. 参加対象者 市内小・中学校 児童・生徒</p> <p>4. 主 催 小城市社会福祉協議会</p>
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、全社協主催の全国福祉教育推進員研修を通じて、社協が行う福祉教育が進められており、佐賀県においても「福祉教育実践研究会」が開催されている。小城市では間違った障がい者理解(障がい者は何もできない、かわいそうといった理解)につながらないように、福祉概念の理解、当事者本人による講話や体験を通じた理解、振り返りを行うプログラムを作成し、学校に働きかけて福祉教育を進めていくことになった。</li> <li>・令和4年度はプログラム実施2年目で、各講座の講師が独自に考え、受け持つ内容がより充実するように考え、実施していただいた。</li> <li>・今回も学校側への案内で、実施を希望する学校を対象に実施した。令和3年度に実施し、学校からも子ども達の学びが深まったと言っていたところもあり、理解が深まり始めていると感じた。今後は、一緒に講話を聞いていただく教職員への発達障がいの理解なども行っていきたい。</li> </ul>



福祉教育推進事業 プログラム

項目	目的・内容	講師
【導入】 地域に住む人の暮らしを知る	【講話・グループワーク】 地域には様々な人(子どもや高齢者、障がい者)と一緒に暮らしていること、人とは感じ方、考え方が違うことを知り、他者を思いやれるようになること。	社協 人権擁護委員
【理解】 日常生活の困りごとを知る。	【講話・交流・体験】 ろうあ者・ボランティアが学校へ訪問し、耳が聞こえない中での生活や困りごと、健常者と変わらず出来ることなどを聞き、交流することで、障がい者に対する理解を深める。	社協 障がい当事者 ボランティアグループ
【体験】 日常生活での障がい者体験を行う。	【講話・体験活動】 ①視覚障がい者の生活体験(講話・アイマスク体験) ②身体障がい者の生活体験(講話・車いす体験) ③障がい者スポーツ体験(講話・ボッチャ体験) ④地域の高齢者との交流(高齢者宅訪問)	社協 障がい当事者 ボランティアグループ 佐賀県パラスポーツ協会 民生委員・児童委員
【振り返り】 振り返り発表会	【振り返り】 これまでの講話、体験で感じたこと、これから行えることなどをまとめ、発表することで、子ども自身の学びをさらに深める。	これまでの講師

令和4年度 実施校

学校名	期 日	内 容	講 師
桜岡小学校	7月1日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	7月6日	視覚障がい者生活体験(アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	10月18日	身体障がい者生活体験(車いす)	社協 障がい当事者
岩松小学校	5月31日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	6月22日	視覚障がい者生活体験(アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	6月28日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	7月1日	身体障がい者生活体験(車いす)	社協 障がい当事者
	7月7日	障がい者スポーツ体験(車いす)	社協 佐賀県パラスポーツ協会
晴田小学校	6月21日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	7月12日	視覚障がい者生活体験(アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	7月15日	身体障がい者生活体験(車いす)	社協 障がい当事者
	10月4日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
三日月小学校	10月24日	福祉・人権について講話	社協 人権擁護委員
	11月1日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	11月16日	視覚障がい者生活体験(アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	11月22日	身体障がい者生活体験(車いす)	社協 障がい当事者
	11月28日	障がい者スポーツ体験(ボッチャ)	社協 佐賀県パラスポーツ協会

学校名	期 日	内 容	講 師
牛津小学校	9月12日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	9月26日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	10月17日	視覚障がい者生活体験(アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	11月14日	高齢者宅訪問	社協 牛津町民生委員 牛津町主任児童委員
	11月28日	障がい者スポーツ体験(ボッチャ)	社協 佐賀県パラスポーツ協会
砥川小学校	6月14日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	7月 4日	視覚障がい者生活体験(アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	7月12日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	9月13日	身体障がい者生活体験(車いす)	社協 障がい当事者
小城中学校	12月15日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	1月12日	障がい者スポーツ体験(ボッチャ)	社協 佐賀県パラスポーツ協会
	1月26日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習会	社協 小城市手話サークル

## 令和4年度 事業報告

事業名	支えあいセンター事業
期 日	通年
担 当 者	地域福祉推進係 井上・吉村
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 地域における見守り・支え合い体制と外出支援の推進
実施内容	<p>1. 目 的</p> <p>一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯等の方を対象に、買い物代行やゴミ出しといった生活上のちょっとしたお困りごとや介護保険では対応できないニーズに対して、地域のボランティアの支援で解決することで、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、利用者とボランティアをつなぎ、住民相互の助け合いを推進する。</p> <p>支えあいセンター活動はチケットによる有償ボランティア活動として運営する。</p> <p>2. 内 容</p> <p>〈利用者登録〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小城市内にお住まいの一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の方を対象に、センター利用について説明し、登録を受け付ける。</li> <li>・支えあいチケットを販売する。(1枚100円、10枚綴り)</li> </ul> <p>〈協力ボランティア登録〉</p> <p>支えあい活動に興味のある方の申し込みを受け付け、ボランティア登録を推進する。</p> <p>〈調整〉</p> <p>利用者からの申し出を受け、希望日に沿うようボランティアへ連絡し調整を図る。</p> <p>〈活動および報告〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動終了後は、ボランティアより電話連絡をいただくことで活動を把握している。</li> <li>・支えあい活動は20分以内100円で行う。(令和2年4月より)</li> </ul>
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度も新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、利用者とボランティアの距離を保ち、手指消毒を徹底して活動した。</li> <li>・付き添い支援で車を使用した場合の保険料を小城市の補助金でまかなうことが出来たため、利用者の希望に応じた活動が出来るようになった。</li> <li>・買い物代行、ゴミ出しの利用者増に伴い、活動件数が増えた。</li> <li>・今後も各町協議体での意見や利用者の要望等を取り入れながら活動を推進していきたい。</li> </ul>

## 支えあいセンター活動状況

### ○活動状況

(単位：件)

町名		月												合計	令和3年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
小 城 町	買い物	12	13	16	9	7	12	10	12	14	9	12	12	138	125
	ゴミ出し	28	29	27	30	30	39	32	30	31	29	23	22	350	239
	付き添い	32	28	18	19	29	25	29	31	45	20	33	23	332	139
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	0	5
三 日 月 町	買い物	10	10	17	12	16	20	19	13	11	15	5	3	151	120
	ゴミ出し	14	10	8	9	13	11	8	10	10	12	10	11	126	110
	付き添い	21	18	26	18	27	20	19	31	22	14	24	25	265	53
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
牛 津 町	買い物	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3	18
	ゴミ出し	17	18	21	17	17	17	15	17	16	16	15	17	203	170
	付き添い	11	12	17	13	11	13	11	17	23	17	15	37	197	98
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
芦 刈 町	買い物	4	3	4	5	3	3	3	2	3	2	2	3	37	40
	ゴミ出し	4	4	4	5	7	8	8	9	8	8	6	8	79	51
	付き添い	5	7	9	8	7	6	10	11	5	4	4	7	83	31
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	買い物	26	26	37	26	26	35	32	27	30	26	19	19	329	303
	ゴミ出し	63	61	60	61	67	75	63	66	65	65	54	58	758	570
	付き添い	69	65	70	58	74	64	69	90	95	55	76	92	877	321
	その他	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	0	5	16
令和4年度合計													1,969	1,210	

### ○登録状況

(単位：人)

町名	種 別	令和4年度	令和3年度
小 城 町	利用者	53	39
	協力ボランティア	25	22
三 日 月 町	利用者	35	24
	協力ボランティア	16	12
牛 津 町	利用者	38	35
	協力ボランティア	18	15
芦 刈 町	利用者	16	11
	協力ボランティア	12	13
合 計	利用者	142	109
	協力ボランティア	71	62

# 福祉資金貸付事業

## 令和4年度 事業報告

事業名	生活福祉資金貸付事業		
期 日	通年		
受付場所	小城市社会福祉協議会 本所		
対 象 者	低所得世帯や障がい者世帯等	担当	自立支援センター相談員
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と権利擁護の推進		
実施内容	1. 目的 低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とする。		
	2. 内 容 佐賀県社会福祉協議会が実施する貸付事業の相談受付及び申請。		
	3. 実 績 相談件数		
		令和4年度	令和3年度
	総合支援資金	3件	0件
	福祉費	3件	2件
	教育支援資金	13件	1件
	療養・介護	0件	0件
	緊急小口	11件	1件
	臨時特例つなぎ資金	0件	0件
不動産担保型生活資金	0件	0件	
特例貸付 緊急小口資金	19件	81件	
特例貸付 総合支援資金	6件	134件	
合計	55件	219件	
	申請・貸付件数		
	令和4年度	令和3年度	
申請件数	26件	199件	
貸付件数	26件	199件	
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年3月25日から新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて実施していた特例貸付の申請受付が令和4年9月末日で終了となり、相談件数も落ち着いた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、なおも減収が続く世帯に対して、相談や聞き取り等を行い、各種支援につなぐ必要がある。</li> </ul>		

## 令和4年度 事業報告

事業名	福祉資金貸付事業																	
期 日	通年																	
受付場所	小城市社会福祉協議会 各支所																	
対 象 者	低所得世帯や障がい者世帯等	担当	自立支援センター相談員 各支所担当者															
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と権利擁護の推進																	
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>小城市社会福祉協議会が、低所得世帯、障害者世帯及び母子世帯に対して資金の援助指導を行うことにより、経済的自立と生活意欲の助長を促進し安定した生活を営むことを目的とする。</p> <p>2. 内容</p> <p>生活、葬祭、医療及び就学支度に必要な資金を限度額50,000円まで貸付けることができる。ただし、借入申請者は小城市内に居住する連帯保証人を付け、所定の借入申請書を担当地区の民生委員を通じて、小城市社会福祉協議会に提出する。</p> <p>3. 実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;"></th> <th style="width: 25%;">令和4年度</th> <th style="width: 25%;">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>17件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>貸付件数</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>貸付金額</td> <td>0円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>償還金額</td> <td>0円</td> <td>70,000円</td> </tr> </tbody> </table>				令和4年度	令和3年度	相談件数	17件	1件	貸付件数	0件	0件	貸付金額	0円	0円	償還金額	0円	70,000円
	令和4年度	令和3年度																
相談件数	17件	1件																
貸付件数	0件	0件																
貸付金額	0円	0円																
償還金額	0円	70,000円																
特記事項 (課題等)	貸付の相談に来られる方は、困窮世帯が多いため、生活自立支援センターと連携し、家計の聞き取り、支払いの確認、滞納などの聞き取りを行い、支援につなげている。																	



# 小城市受託事業

## 令和4年度 事業報告

事業名	軽度生活支援事業及び地域生活応援業務		
期 日	通年		
場 所	小城市全域		
対 象 者	虚弱な一人暮らし高齢者等	担当者	地域生活支援課 内川
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 地域における見守り・支え合い体制と外出支援の推進		
軽度生活支援実施内容	1. 目的 在宅の概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯等へ軽易な日常生活上の支援を行うことにより、住み慣れた自宅で自立した生活を継続するとともに、要介護状態への防止を図ることを目的として実施する。 2. 内容 ①食事、食材の確保、調理支援 ②衣類等の洗濯 ③家屋内の整理整頓、掃除 ④その他軽易な日常生活上の支援 ⑤市役所や包括支援センター等への情報提供や相談等 3. 対象者 介護保険の要支援・要介護認定を受けていない概ね65歳以上の高齢者で、心身状態が低下し支援が必要な方。 (ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯で市に申請後該当された方) 4. 利用料 300円/時間 (超過30分毎150円) 生活保護世帯は半額 5. 利用延人数 令和 4年度年間 126人 (実人員 9人) 令和 3年度年間 158人 (実人員 13人) 6. 利用延回数 令和 4年度年間 481回 令和 3年度年間 640回		
地域生活応援業務実施内容	1. 目的 安否確認の訪問見守り(無料)・関係機関との連携、福祉サービスのつなぎ支援等を行う。 2. 内容 ①訪問延件数 93件/年間 稼働時間 42時間35分/年間 (令和3年度件数延べ108件/年間 稼働時間54時間50分/年間) ②市役所や包括支援センターへ情報提供や相談等 3. 対象者 見守り支援が必要なひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯 4. 対象者数 三日月なし、牛津 1世帯 1人、小城・芦刈 なし 合計 1世帯 1人(令和5年3月末現在) (令和3年度 三日月 1世帯 2人、牛津 1世帯 1人、小城・芦刈 なし 合計 2世帯 3人)		
特記事項(課題等)	・訪問時の利用者の状態観察により、必要に応じて病院受診の声掛け、ご家族や市役所、医療機関への報告を行い、状態の変化に早期対応を行う。 ・状態変化により、介護保険サービス等へ移行するケースもあり、移行時は関係機関に適切につなぐ。 ・課題を抱える方への見守り支援は、市、包括支援センター、民生委員等の関係機関と連携を図りながら、情報を共有し支援につなげる。		

## 令和4年度 事業報告

事業名	生きがい活動支援通所事業(南部生きがいデイサービス)																																																														
期 日	通年	担 当 者	地域生活支援通所係 陣内 古賀																																																												
場 所	芦刈保健福祉センター「ひまわり」																																																														
参加人員	延べ 稼働 244日 延べ 2,181人 (1日平均 8.9人) (令和3年度 稼働 223日 延べ 2,384人 1日平均 10.7人)																																																														
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本方針 交流の場の普及																																																														
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>小城市が定めた特定高齢者等に対し、積極的に筋力向上や生きがい活動を行い、生活機能の低下を防ぎ、要支援・要介護状態になることを予防する。 また、定期的な交流の場を提供することにより、閉じこもりを防止し、高齢者ができる限り自立した生活を営むことができるよう支援する。</p> <p>2. 登録者</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦刈町</td> <td>0人</td> <td>16人</td> <td>16人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>4人</td> <td>30人</td> <td>34人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>4人</td> <td>46人</td> <td>50人</td> <td>66人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 活動内容</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;"></th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%; text-align: right;">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 元 気 ア ッ プ 教 室</td> <td>120日</td> <td>966人</td> <td></td> <td>(1069人)</td> </tr> <tr> <td>(2) フォローアップ教室</td> <td>124日</td> <td>909人</td> <td></td> <td>(979人)</td> </tr> <tr> <td>(3) 生 き が い 活 動</td> <td>244日</td> <td>306人</td> <td></td> <td>(336人)</td> </tr> <tr> <td colspan="5">①認知症予防、レクリエーション活動、趣味活動、手芸活動</td> </tr> <tr> <td colspan="5">②芦刈町ひな祭り会・文化祭参加</td> </tr> <tr> <td colspan="5">③野外活動(年3回) 買い物、桜見物、梅林見物</td> </tr> <tr> <td colspan="5">④消防訓練参加</td> </tr> </tbody> </table>			地区名	男性	女性	令和4年度	令和3年度	芦刈町	0人	16人	16人	21人	牛津町	4人	30人	34人	45人	合 計	4人	46人	50人	66人					令和3年度	(1) 元 気 ア ッ プ 教 室	120日	966人		(1069人)	(2) フォローアップ教室	124日	909人		(979人)	(3) 生 き が い 活 動	244日	306人		(336人)	①認知症予防、レクリエーション活動、趣味活動、手芸活動					②芦刈町ひな祭り会・文化祭参加					③野外活動(年3回) 買い物、桜見物、梅林見物					④消防訓練参加				
地区名	男性	女性	令和4年度	令和3年度																																																											
芦刈町	0人	16人	16人	21人																																																											
牛津町	4人	30人	34人	45人																																																											
合 計	4人	46人	50人	66人																																																											
				令和3年度																																																											
(1) 元 気 ア ッ プ 教 室	120日	966人		(1069人)																																																											
(2) フォローアップ教室	124日	909人		(979人)																																																											
(3) 生 き が い 活 動	244日	306人		(336人)																																																											
①認知症予防、レクリエーション活動、趣味活動、手芸活動																																																															
②芦刈町ひな祭り会・文化祭参加																																																															
③野外活動(年3回) 買い物、桜見物、梅林見物																																																															
④消防訓練参加																																																															
特記事項 (課題等)	<p>《報告》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ボランティア等との交流活動を中止した。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で送迎車の乗車定員を制限していたが、制限緩和に伴い、通常通りの定員数へ戻した。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスに対する制限緩和に伴い、外部交流やイベント等の機会を設けていき、利用者の活動の充実へつなげていく。</li> <li>・自立した在宅生活が続けられるよう、各関係機関と連携し、介護予防・認知症予防・閉じこもり予防を促進していく。</li> <li>・介護保険への移行が増え、利用者が減ってきているため、地域のサロンや敬老会等に出向き、利用者増に向けた周知活動を行っていく。</li> </ul>																																																														

## 令和4年度 事業報告

事業名	障害者移送サービス事業		
期 日	通年 8時30分から17時(土日、祭日、年末年始を除く)		
移送の範囲	佐賀中部広域連合構成市町内で、運送の発地又は着地のいずれかが小城市内であること。		
年間利用者	延べ 908人 (令和3年度 932人)	担当者	移送サービス支援員 橋本
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 地域における見守り・支え合い体制と外出支援の推進		
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>何らかの理由により移動に困難を伴う人、公共交通機関を使用するのが困難な人に対して、車両を使って外出の支援を行う。</p> <p>2. 利用できる方</p> <p>小城市内に住所を有する方で、次の要件を満たす方。          ※障がい者の方（身体・療育・精神の各手帳所持が原則）や介護保険の要介護認定を受けた方で、市の利用要件に該当され、かつ公共交通機関を利用することが困難な方。          ※令和5年3月末で47人登録</p> <p>3. 利用料</p> <p>タクシー料金の概ね半額程度で、待機料金は10分毎に100円が必要。</p> <p>4. 利用目的</p> <p>①病気治療(通院・リハビリ)      ②福祉サービスの利用          ③研修会等の社会参加等</p>		
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規登録が7人で、3月末 47人の登録となっている。</li> <li>・利用者の体調や病状に配慮し、丁寧な対応・安全運転に努めていく。</li> <li>・年3回予定の佐賀中部地区福祉有償運送運営協議会に参加し、移送サービスの現状や問題点、改善点を確認し現サービスに反映していく。</li> </ul>		

## 令和4年度 障害者移送サービス事業実績報告書

### 1. 利用実績

当初登録者数	年度中の増減	年度末登録者数	備 考
40人	7人	47人	毎年更新の確認実施

### 2. 月別利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	66件	67件	67件	70件	86件	76件	
料金	53,020円	43,180円	45,380円	47,440円	59,120円	56,020円	
距離	407.0km	315.5km	351.0km	331.7km	432.7km	412.6km	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	73件	85件	81件	63件	87件	87件	908件
料金	49,740円	58,540円	57,100円	47,300円	65,520円	68,240円	650,600円
距離	348.2km	426.4km	410.5km	345.8km	492.1km	525.5km	4,799.0km

＜令和3年度計＞932 件 729,480円 5,842.4km

3. 事故件数            事故件数   0  件

4. 苦情件数           苦情件数   0  件

5. 利用目的別の件数   ※( )内は令和3年度実績

目 的	件 数	目 的	件 数
研修会等への参加	0件( 0件)	冠婚葬祭への参加	0件( 0件)
レクリエーション	0件( 0件)	公共機関への移送	4件( 0件)
病院・施設入退院	884件(904件)	その他	20件( 27件)
買い物等	0件( 1件)	計	908件( 932件)

6. 身体状況、態様別の件数   ※( )内は令和3年度実績

状況・態様	件 数
身体障がい者	699件(765件)
要介護	103件( 67件)
療育・精神	106件(100件)
計	908件(932件)

## 令和4年度 事業報告

<b>事業名</b>	愛の一声運動推進事業																				
<b>期 日</b>	通年	訪問連絡員数	143人																		
<b>担当者</b>	地域福祉推進係 井上、各支所担当																				
<b>地域福祉活動計画</b>	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 地域における見守り・支え合い体制と外出支援の推進																				
<b>実施内容</b>	<p>1. 目的 ひとり暮らし高齢者の生活状況を常時把握し、孤立感を慰め、日常生活の安全を確保する。</p> <p>2. 内容 訪問連絡員を設置し、担当世帯を定期的に訪問し対象者の話し相手や相談相手になり、生活及び健康状態を観察し、必要に応じて民生委員・児童委員などに連絡する。 年に1回訪問員に向けた研修会を行い、資質向上に務める。</p> <p>3. 対象者 概ね65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみ世帯</p> <p>4. 協 力 訪問連絡員、民生児童・児童委員 ※( )は令和3年度</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">訪問対象者</th> <th style="width: 35%;">訪問連絡員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小城町</td> <td>54人( 61人)</td> <td>50人( 55人)</td> </tr> <tr> <td>三日月町</td> <td>47人( 47人)</td> <td>40人( 47人)</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>34人( 36人)</td> <td>30人( 32人)</td> </tr> <tr> <td>芦刈町</td> <td>26人( 23人)</td> <td>23人( 23人)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>161人(167人)</td> <td>143人(157人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(研修会)            日 時: 令和5年2月22日(水)            場 所: 小城保健福祉センター桜楽館 多目的ホール            内 容: 見えないお金などのトラブル/特殊詐欺            講 師: 財務省 福岡財務支局 田中 正一 氏            参加者: 28人</p>				訪問対象者	訪問連絡員	小城町	54人( 61人)	50人( 55人)	三日月町	47人( 47人)	40人( 47人)	牛津町	34人( 36人)	30人( 32人)	芦刈町	26人( 23人)	23人( 23人)	計	161人(167人)	143人(157人)
	訪問対象者	訪問連絡員																			
小城町	54人( 61人)	50人( 55人)																			
三日月町	47人( 47人)	40人( 47人)																			
牛津町	34人( 36人)	30人( 32人)																			
芦刈町	26人( 23人)	23人( 23人)																			
計	161人(167人)	143人(157人)																			
<b>特記事項(課題等)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小城町、牛津町で訪問対象者が減少したが、芦刈町では増加している。減少は、死亡、転居などによる登録抹消での減少や元気な高齢者も多いことが考えられる。訪問連絡員の方も一人で複数人を見守る方が増えてきている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の対策を行い、研修会が開催出来た。</li> </ul>																				

## 令和4年度 事業報告

事業名	高齢者ふれあいサロン事業		
期 日	通年		
場 所	小城市全域		
対 象 者	各地区の概ね65歳以上の方 (65歳未満の方も協力員として参加可)	担当者	ふれあいサロン係 野田・中原・嘉村・秋山
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 交流の場の普及		
実施内容	<p>1. 目 的 家に閉じこもりがちな高齢者等へ自らが生きがいを見つけ、地域とのつながりを保ち、自立した在宅生活を確保することを支援する。</p> <p>2. 内 容 各地区の公民館へ出向き、介護予防・認知症予防の体操やレクリエーションの紹介、健康や福祉についての情報提供をする。</p> <p>3. 実施地区 ふれあいサロン(職員派遣) 小城市 6地区 三日月町 7地区 牛津町 6地区 芦刈町 8地区 各保健福祉センターサロン3か所</p> <p>4. 参加費 無料(活動に伴うその他材料費等は実費負担)</p> <p>5. 主 催 地区住民運営</p> <p>6. 協 力 区長、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、ボランティア等</p>		
活動概要	<p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区の公民館へ出向き、介護予防・認知症予防の脳トレや体操などを実施している。</li> <li>・福祉や健康についての情報提供やレクリエーション活動、いきいき百歳体操の紹介などを行っている。</li> <li>・参加者から気がかり情報を聴き、関係機関と連携して支援している。</li> <li>・自主サロンの説明や移行支援などを行っている。</li> </ul> <p>【効 果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の住民相互の助け合いや通いの場の必要性が理解され、住民交流の場、通いの場づくりについて、地域が主体的に取り組む意識が向上している。</li> <li>・ふれあいサロンへの参加が介護予防・認知症予防につながっていることが認識されている。</li> </ul> <p>【課 題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気がかりな方などのニーズを発見しても、本人や家族への状況把握のためのアプローチが大変難しい。関係機関と連携して、相談支援に取り組む必要がある。</li> <li>・新規の参加者や開催地区を増やす工夫が必要だと感じる。</li> <li>・感染症の予防に努めながら活動を行う必要がある。</li> </ul>		

ふれあいサロン実績報告(各地区公民館開催)

	実施地区	実施回数	参加者数	各町内訳			
				【小城】	【三日月】	【牛津】	【芦刈】
令和4年度	27地区	265回	1,444人	6地区	7地区	6地区	8地区
				47回	65回	67回	86回
				136人	346人	477人	485人
令和3年度	29地区	235回	1,338人	6地区	8地区	6地区	9地区
				53回	54回	52回	76回
				198人	296人	396人	448人

保健福祉センターふれあいサロン実績報告

	実施か所	実施回数	参加者数	各町センター内訳			
				【桜楽館】	【ゆめりあ】	【アイル】	【ひまわり】
				月・水・金	開催なし	水曜日	水曜日
令和4年度	3か所	66回	312人	24回		31回	11回
				170人		110人	32人
令和3年度	3か所	59回	301人	16回		25回	18回
				143人		107人	51人



## 令和4年度事業報告書

事業名	小城市子育て相互支援事業		
日時	通年	担当者	地域福祉推進係 船津・木塚
地域福祉 活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と権利擁護の推進		
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>既存の保育サービスでは応じきれない保育ニーズに応え、安心して子育てできる環境づくりを目指す。病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の預かりなど多様なニーズへの対応を図ることを目的とする。</p> <p>2. 事業</p> <p>①育児の支援を受けたい人と支援できる人が会員となり、ファミリーサポートセンターを仲介として、託児・送迎・家事支援等を会員同士で支え合う援助活動の調整</p> <p>②会員に対して相互援助に必要な講習会の開催</p> <p>③会員の交流を深め、情報交換のための交流会の開催</p> <p>④子育て支援関連施設・事業と連絡調整</p> <p>3. 活動内容</p> <p>①保育施設の時間外や学校の放課後などの子どもの預かり</p> <p>②冠婚葬祭や買い物等外出の際の子どもの預かり</p> <p>③学校・保育施設などの送迎</p> <p>④出産前後の家事支援</p> <p>⑤軽度の病児・病後児の預かり</p> <p>4. 登録者数 利用会員580人、協力会員42人</p> <p>5. 活動実績 1,758件、時間4,494時間58分 (送迎託児61件、送迎606件、託児1,091件、家事0件) (令和3年度1,923件、時間4,997時間25分)</p> <p>6. 研修会</p> <p>・サポーター養成講座 9月20, 27, 29, 10月4, 6, 14, 17日 11講座に21人参加(新規修了者4人)</p> <p>・協力会員研修 3月17日 小城保健福祉センター「桜楽館」で情報交換会 7人参加</p> <p>7. 利用料金</p> <p>平日の8時から18時は原則1時間 400円(利用者負担) (※市から1時間あたり 200円の補助あり)</p>		
特記事項 (反省・課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外への新規の「送迎」は対応できていない。</li> <li>・特別な支援の必要な子どもや親に対応できるスタッフおよびサポーターのスキル向上をめざす。</li> <li>・協力会員が減少傾向にある。利用・協力会員を増やしていく。</li> <li>・親戚や近所付き合いが減り、親だけで子どもを育てる傾向がある。待ちの支援から必要な子どもや家庭に支援が届くようプッシュ型支援やアウトリーチ型支援も視野に入れていく。</li> </ul>		

## 令和4年度事業報告書

事業名	小城市地域子育て支援拠点事業		
日時	通年	担当者	地域福祉推進係 木塚・山田・中村(真)
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 交流の場の普及		
実施内容	<p>1. 目的 子育て中の親の孤独感や不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。</p> <p>2. 事業 ①乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言を行う。</p> <p>3. 活動内容 ・桜楽館(小城保健福祉センター) 毎週月曜日・金曜日(10:00～12:00)・水曜日(10:00～15:00) ・ひまわり(芦刈保健福祉センター) 毎週火曜日(10:00～15:00)木曜日(10:00～12:00)</p> <p>4. 活動実績 ・桜楽館 1,928組(大人 2,014人 子ども 2,269人) (令和3年度 1,559組(大人 1,609人 子ども 1,756人)) ・ひまわり 752組(大人 756人 子ども 1,089人) (令和3年度 675組(大人 697人 子ども 811人))</p>		
特記事項 (反省・課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化が進行するなか、子育ての悩みを相談できる人がいなく、ひとりで抱え込んでいる人が増えてきている。身近な相談相手になれるようにスタッフやボランティアのスキルアップを図る。</li> <li>・感染症や周囲に迷惑をかけないかという不安から、家にとじこもりがちになり、親が子育てに大きなストレスを感じている傾向がある。</li> <li>・検温や消毒など感染症対策に配慮してイベントも少しずつ開催している。</li> </ul>		

## 令和4年度 事業報告

事業名	小城保健福祉センター「桜楽館」の管理・経営														
期 日	通年														
場 所	小城市小城保健福祉センター「桜楽館」 小城市小城町畑田750番地														
総利用人員	65,471人	担当	地域福祉企画課、小城支所												
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 暮らしやすい生活環境の整備と既存施設の有効活用														
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。</p> <p>また、各福祉団体やボランティアグループ及び子育て支援事業の拠点として利用されている「桜楽館」を社協が管理することによって、より以上に地域住民や各種団体と連携・協働が可能になり、小城市地域福祉活動計画に基づく「だれもが心の豊かさと幸せを実感できる健康・福祉のまち 小城」を推進する。</p> <p>2. 管理内容</p> <p>平日、日中の管理人1人と17時から19時及び土・日曜日・「国民の祝日」に対応した日々雇用の職員4人を配置して管理している。その他に管理業務や運営業務は、社協職員が兼務している。</p> <p>3. 利用実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">利用者数</th> <th style="width: 35%;">利用料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">令和4年度</td> <td style="text-align: center;">65,471人</td> <td style="text-align: center;">1,009,974円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> <td style="text-align: center;">84,517人</td> <td style="text-align: center;">1,087,969円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">前年対比</td> <td style="text-align: center;">19,046人の減</td> <td style="text-align: center;">77,995円の減</td> </tr> </tbody> </table>				利用者数	利用料金	令和4年度	65,471人	1,009,974円	令和3年度	84,517人	1,087,969円	前年対比	19,046人の減	77,995円の減
	利用者数	利用料金													
令和4年度	65,471人	1,009,974円													
令和3年度	84,517人	1,087,969円													
前年対比	19,046人の減	77,995円の減													
特記事項 (課題等)	<p>①経営状況について</p> <p>電気料金や重油代が高騰した分について、新型コロナワクチンの集団接種会場の使用料を小城市より追加で頂いた。なお、令和5年度よりお風呂の営業時間を短縮して、経費削減に努める。</p> <p>②災害時自主避難所について</p> <p>令和4年度の拠点避難所は、「ゆめぷらっと小城」へ変更されたが、大型台風接近のため、9月に2回避難所を開設した。</p>														

## 令和4年度 事業報告

事業名	芦刈保健福祉センター「ひまわり」の管理・経営														
期 日	通年														
場 所	小城市芦刈保健福祉センター「ひまわり」 小城市芦刈町三王崎1522番地														
総利用人員	23, 222人	担当	地域福祉企画課、芦刈支所												
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 暮らしやすい生活環境の整備と既存施設の有効活用														
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。</p> <p>また、各福祉団体やボランティアグループ及び子育て支援事業の拠点として利用されている「ひまわり」を社協が管理することによって、より以上に地域住民や各種団体と連携・協働が可能となり、小城市地域福祉活動計画に基づく「だれもが心の豊かさや幸せを実感できる健康・福祉のまち 小城」を推進する。</p> <p>2. 管理内容</p> <p>平日・日中の管理人1人と17時から19時及び土・日曜日・「国民の祝日」に対応した日々雇用の職員4人を配置して管理している。その他に管理業務や運営業務は、社協職員が兼務している。</p> <p>3. 利用実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 40%;">利用者数</th> <th style="width: 40%;">利用料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>23, 222人</td> <td>136, 760円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>45, 676人</td> <td>151, 430円</td> </tr> <tr> <td>前年対比</td> <td>22, 454人の減</td> <td>14, 670円の減</td> </tr> </tbody> </table>				利用者数	利用料金	令和4年度	23, 222人	136, 760円	令和3年度	45, 676人	151, 430円	前年対比	22, 454人の減	14, 670円の減
	利用者数	利用料金													
令和4年度	23, 222人	136, 760円													
令和3年度	45, 676人	151, 430円													
前年対比	22, 454人の減	14, 670円の減													
特記事項 (課題等)	<p>①経営状況について</p> <p>令和3年度に引き続き、新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場となったため、年間を通して研修室や集団指導室等の使用ができなかったが、小城市より使用料を頂いた。また、9月に館内の水道配管が破裂して、修理のため2カ月間お風呂の営業ができなかった。</p> <p>②災害時自主避難所の対応について</p> <p>令和4年度は台風接近のため、9月に2回自主避難所を開設した。令和5年度も災害発生が予測される場合は、市と協力して避難所開設を行う。</p>														

## 令和4年度 事業報告

事業名	高齢者生きがいづくり講座事業																																																										
期 日	通年	参加人数	403人																																																								
場 所	小城保健福祉センター「桜楽館」(5講座) 小城市役所別館(1講座)																																																										
担当者	地域福祉推進係 井上																																																										
地域福祉活動計画	基本目標            みんなで支える地域づくり 基本施策            交流の場の普及																																																										
実施内容	<p>1. 目的 高齢者の生きがいと社会参加を促進するために、高齢者の趣味活動の普及および創作活動の振興などにつながる講座を開催する。</p> <p>2. 内容 ボランティアで行っていただいている講師の指導のもと、毎月1～3回の講座を開催して趣味活動や創作活動を行い、交流を深めながら外出の機会を増やす。</p> <p>3. 対象者    概ね65歳以上の小城市内在住者</p> <p>4. 参加費    無料(材料費などの実費は本人負担)</p>																																																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 30%;">講座名</th> <th style="width: 15%;">受講者数</th> <th style="width: 15%;">回数(延)</th> <th style="width: 35%;">人数(延)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">小城</td> <td>短歌</td> <td style="text-align: center;">6人</td> <td style="text-align: center;">18回</td> <td style="text-align: center;">77人</td> </tr> <tr> <td>水墨画</td> <td style="text-align: center;">13人</td> <td style="text-align: center;">26回</td> <td style="text-align: center;">164人</td> </tr> <tr> <td>生け花</td> <td style="text-align: center;">14人</td> <td style="text-align: center;">9回</td> <td style="text-align: center;">80人</td> </tr> <tr> <td>写真教室</td> <td style="text-align: center;">7人</td> <td style="text-align: center;">10回</td> <td style="text-align: center;">43人</td> </tr> <tr> <td>健康マージャン教室</td> <td style="text-align: center;">39人</td> <td style="text-align: center;">9回</td> <td style="text-align: center;">103人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">三日月</td> <td>園芸教室</td> <td style="text-align: center;">21人</td> <td style="text-align: center;">9回</td> <td style="text-align: center;">154人</td> </tr> <tr> <td>健康マージャン教室</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">牛津</td> <td>健康マージャン教室</td> <td style="text-align: center;">18人</td> <td style="text-align: center;">6回</td> <td style="text-align: center;">58人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">芦刈</td> <td>健康マージャン教室</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">118人</td> <td style="text-align: center;">87回</td> <td style="text-align: center;">679人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">令和3年度</td> <td style="text-align: center;">58人</td> <td style="text-align: center;">47回</td> <td style="text-align: center;">381人</td> </tr> </tbody> </table>					講座名	受講者数	回数(延)	人数(延)	小城	短歌	6人	18回	77人	水墨画	13人	26回	164人	生け花	14人	9回	80人	写真教室	7人	10回	43人	健康マージャン教室	39人	9回	103人	三日月	園芸教室	21人	9回	154人	健康マージャン教室	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止			牛津	健康マージャン教室	18人	6回	58人	芦刈	健康マージャン教室	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止			合計		118人	87回	679人	令和3年度		58人	47回	381人
		講座名	受講者数	回数(延)	人数(延)																																																						
	小城	短歌	6人	18回	77人																																																						
		水墨画	13人	26回	164人																																																						
		生け花	14人	9回	80人																																																						
		写真教室	7人	10回	43人																																																						
		健康マージャン教室	39人	9回	103人																																																						
	三日月	園芸教室	21人	9回	154人																																																						
		健康マージャン教室	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止																																																								
牛津	健康マージャン教室	18人	6回	58人																																																							
芦刈	健康マージャン教室	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止																																																									
合計		118人	87回	679人																																																							
令和3年度		58人	47回	381人																																																							
<p>・令和4年度は、新型コロナウイルス感染状況により、講師と相談して開催を中止した月もあった。</p> <p>昨年度と比べると開催回数が増えたため、多くの方に参加していただけた。</p> <p>・令和5年度から短歌教室、水墨画教室、生け花教室を自主サークル化することができた。</p> <p>また新規講座としてスマホ教室を開催する予定である。</p>																																																											
特記事項 (課題等)																																																											

## 令和4年度 事業報告

事業名	小城・多久障害者相談支援事業		
期 日	通年	担当者	小城・多久障害者相談支援センター 土岐、佐々木、大垣内、古賀、野中、龍野
設置場所	小城市保健福祉センター「桜楽館」内		
実施地域	小城市・多久市		
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と権利擁護の推進		

実施内容	<p>1. 事業</p> <p>①障害者相談支援センター事業 ②障害者虐待防止センター事業</p> <p>2. 事業内容</p> <p>障がいがある方やその家族等の地域における生活を支援するため、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用、介護相談、権利擁護のために必要な援助、専門機関等の情報提供等を行う。夜間を含めて緊急に対応が必要となる場合における相談支援、関係機関との連絡・調整を行うと共に、障がい者虐待に関する通報届出の窓口や、指定特定相談支援・障害児相談支援として福祉サービスの利用計画の作成等の支援を行う。</p> <p>3. 活動状況</p> <p>(1)総合相談</p> <p>・相談受付件数 延べ3,893件(小城 2,893件 多久 940件 他 60件) 【令和3年度 4,166件(小城 3,042件 多久 1,093件 他 31件)】</p> <div style="text-align: center;"> <p>障がい別相談受付件数</p> <table border="1"> <caption>障がい別相談受付件数</caption> <thead> <tr> <th>障がい種別</th> <th>小城市</th> <th>多久市</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体</td> <td>213</td> <td>180</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>重症心身</td> <td>115</td> <td>48</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>知的障害</td> <td>992</td> <td>350</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>精神障害</td> <td>1010</td> <td>256</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>発達障害</td> <td>458</td> <td>91</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>高次脳機能障害</td> <td>94</td> <td>12</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>対象障がい別の相談受付で、知的障がいの方の相談が一番多く、計1,363件、次に多いのが精神障がいの方の相談で計1,282件。前年度と比較し、増加が見られたのが重症心身の方の相談で40件、高次脳機能障害の方の相談で9件増加がみられた。</p>	障がい種別	小城市	多久市	その他	身体	213	180	4	重症心身	115	48	0	知的障害	992	350	21	精神障害	1010	256	16	発達障害	458	91	8	高次脳機能障害	94	12	0	その他	11	3	11
障がい種別	小城市	多久市	その他																														
身体	213	180	4																														
重症心身	115	48	0																														
知的障害	992	350	21																														
精神障害	1010	256	16																														
発達障害	458	91	8																														
高次脳機能障害	94	12	0																														
その他	11	3	11																														

<p>実施内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待相談対応件数 4件（令和3年度 4件）</li> <li>・障害支援区分認定調査 104件(小城 62件 多久 42件)【令和3年度 70件】</li> </ul> <p>(2)地域生活支援拠点事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活支援拠点コーディネーター業務として常時の連絡体制の確保</li> <li>・短期入所事前登録調査票の作成や保管(小城市 17件・多久市 2件)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【令和3年度 21件】</p> <p>(3)指定特定相談支援・指定障害児相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス等利用計画作成 203件(小城 140件 多久 63件)【令和3年度 216件】</li> <li>・モニタリング 340件(小城 243件 多久 97件)【令和3年度 447件】</li> </ul> <p>(4) 研修会等への参加・講師派遣など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害支援区分認定調査員研修</li> <li>・日本自閉症協会全国大会佐賀大会</li> <li>・佐賀県相談支援事業連絡協議会（コロナ禍でオンラインでの4回開催）</li> <li>・相談支援従事者指導者養成研修</li> <li>・指導者養成研修(意思決定支援コース)</li> <li>・医療的ケア児等支援者養成研修</li> <li>・発達障害支援サポーター養成研修</li> <li>・九州地区障がい者相談支援事業合同研修（沖縄県）</li> <li>・佐賀県相談支援従事者初任者研修</li> <li>・佐賀県相談支援従事者現任研修</li> <li>・佐賀県精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修(オンライン)</li> <li>・佐賀県障害者虐待防止・権利擁護研修</li> <li>・スマートサイト研修会</li> <li>・みみサポーター養成講座</li> <li>・佐賀県精神障がい者家族相談員研修会</li> <li>・小城市民生委員児童委員勉強会(精神障害者について)（広報）</li> <li>・佐賀県相談支援従事者初任者研修（講義・演習講師）</li> <li>・佐賀県自立支援協議会人材育成部会</li> <li>・ファシリテーション・ミーティング研修会</li> </ul> <p>《総合支援協議会》 （地域生活支援拠点）</p> <p>「身体に障害がある方への支援～視覚障害、聴覚障害について～」</p>
-------------	--

## 令和4年度 事業報告

事業名	生活困窮者自立相談支援事業 (生活自立支援センター)	担当者	小城市生活自立支援センター 陣内・永淵・中島																																								
期 日	通年																																										
設置場所	小城保健福祉センター「桜楽館」内																																										
担当地区	小城市内全域																																										
地域福祉活動計画	<p>基本目標 気軽に相談できる環境づくり</p> <p>基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と権利擁護の推進</p>																																										
事業内容	<p>平成29年度から小城市より受託し、経済的困窮や社会的孤立をしている者の相談に応じて必要な情報提供及び助言を行うとともに、継続的な支援が必要な対象者に対しては自立支援計画を作成し、生活困窮者の自立の促進を図るための支援を行う。(自立相談支援事業)。</p> <p>また、離職・廃業から2年以内または休業等により収入が減少し、離職等と同程度の状況にあり、住居を喪失した者(またはおそれのある者)に対し、家賃相当分の給付金を支給することにより、これらの者の住居および就労機会の確保に向けた支援を行う(住居確保給付金)。</p> <p><b>【新規相談件数】</b></p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">小城</td> <td style="text-align: center;">三日月</td> <td style="text-align: center;">牛津</td> <td style="text-align: center;">芦刈</td> <td style="text-align: center;">その他</td> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">21件</td> <td style="text-align: center;">13件</td> <td style="text-align: center;">20件</td> <td style="text-align: center;">5件</td> <td style="text-align: center;">0件</td> <td style="text-align: center;">59件</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 100px;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">98件</td> </tr> </table> <p><b>【相談受付件数(延べ件数)】</b></p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">小城</td> <td style="text-align: center;">三日月</td> <td style="text-align: center;">牛津</td> <td style="text-align: center;">芦刈</td> <td style="text-align: center;">その他</td> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">243件</td> <td style="text-align: center;">146件</td> <td style="text-align: center;">250件</td> <td style="text-align: center;">11件</td> <td style="text-align: center;">163件</td> <td style="text-align: center;">813件</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 100px;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">660件</td> </tr> </table> <p><b>【住居確保給付金についての相談】</b></p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">相談延べ件数</td> <td style="text-align: center;">30件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">申請件数</td> <td style="text-align: center;">5件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">給付決定</td> <td style="text-align: center;">5件</td> </tr> </table>					小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計		21件	13件	20件	5件	0件	59件		令和3年度	98件	小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計		243件	146件	250件	11件	163件	813件		令和3年度	660件	相談延べ件数	30件	申請件数	5件	給付決定	5件
小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計																																						
21件	13件	20件	5件	0件	59件																																						
令和3年度																																											
98件																																											
小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計																																						
243件	146件	250件	11件	163件	813件																																						
令和3年度																																											
660件																																											
相談延べ件数	30件																																										
申請件数	5件																																										
給付決定	5件																																										
特記事項 (課題等)	<p>特例貸付が9月末に終了となり、自立支援金も3月末で終了となったが、引き続きコロナウイルスの影響を受けている世帯は多い状況。住居確保給付金については、雇用情勢の改善により新規支給決定件数は減少傾向にあるが、コロナ前と比較する高い水準を維持しており、ハローワーク巡回就労面談なども活用しながら離職者、減収者への支援としての効果が確認出来ている。</p> <p>今年度より任意事業が小城市でも開始となり、コロナ禍で顕在化した困窮者の生活再建を支援するため各機関連携を取りながら一体的に困窮者の支援を行える体制を強化していく必要がある。</p>																																										



# 佐賀中部広域連合 受託事業

## 令和4年度 事業報告

事業名	南部地域包括 支援センター事業 (おたっしや本舗小城南)	担当者	地域生活支援課 外野木・鳥羽・北村(昌)・前田・北村(裕)・ 中村・末岡													
期 日	通 年															
設置場所	芦刈保健福祉センター「ひまわり」内															
担当地区	小城市南部地区 ( 牛津町 ・ 芦刈町 )															
地域福祉 活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者への相談支援連携と権利擁護 の推進															
事業内容	<p>I 包括的支援事業</p> <p>1. 総合相談業務</p> <p style="padding-left: 20px;">目 的</p> <p style="padding-left: 40px;">地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続して いけるように、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービ ス、関係機関および制度の利用につなげる等の支援を行う。</p> <p>(1) 相談支援業務</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">相 談 内 容</th> <th style="width: 20%;">令和4年度</th> <th style="width: 20%;">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険その他の保健福祉サービスに関すること</td> <td>445件</td> <td>533件</td> </tr> <tr> <td>権利擁護に関すること(高齢者虐待等含む)</td> <td>7件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>452件</td> <td>536件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・広報: 地域包括支援センターの活動や連絡先について周知を図るため、小城 市報掲載毎月1回、社協だより“絆”掲載年6回実施</p> <p>(2) 高齢者見守りキーホルダー事業</p> <p style="padding-left: 20px;">内 容</p> <p style="padding-left: 40px;">小城南部地区在住(牛津町・芦刈町)の高齢者を対象にカナミックシステム で個人情報を管理し、急変時や認知症による徘徊時に関係機関(市役所、警 察、消防、広域連合)と迅速な情報共有。</p> <p>・広報: 高齢者見守りキーホルダー事業について団体などに対し出前講座等に実施 令和4年度 登録者数 計 159人 内新規登録者 8人 (令和3年度 登録者数 計 151人 内新規登録者 30人))</p> <p>2. 権利擁護業務</p> <p style="padding-left: 20px;">目 的</p> <p style="padding-left: 40px;">権利侵害を受けている、または受ける可能性が高いと考えられる高齢者が 尊厳のある生活を行うことができるよう、権利侵害の予防や対応を専門的に 行う。</p>				相 談 内 容	令和4年度	令和3年度	介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	445件	533件	権利擁護に関すること(高齢者虐待等含む)	7件	3件	計	452件	536件
相 談 内 容	令和4年度	令和3年度														
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	445件	533件														
権利擁護に関すること(高齢者虐待等含む)	7件	3件														
計	452件	536件														

事業内容	<p>3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p> <p>目的  地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントを介護支援専門員が実践するための地域の基盤を整えるとともに、個々の介護支援専門員へのサポートを行う。</p> <p>(1) おたっしや本舗小城南地域ケア会議の開催</p> <p>目的  高齢者個人に対する支援の充実とそれを支える社会基盤の整備が同時に図られるため、地域の特性を踏まえた地域包括ケアシステムの実現。  《小城市南部サービスネットワーク部会：通称 ハピネット部会》  ・年1回開催ハブツリ型研修 参加者延べ人数 57人  《小城市自立支援型ケア会議》（旧名称：生き生きプラン）  ・年7回開催 参加者延べ人数194人</p> <p>(2) 小城市在宅医療・介護連携推進協議会との連携  ・小城市在宅医療・介護連携推進協議会の啓発・広報部会、研修部会、情報システム部会の委員として参加  ・市民公開講座実施協力、企画、広報、スタッフとして参加</p> <p>(3) 民生委員・児童委員連絡協議会定例会への参加  ・牛津町定例会と芦刈町定例会へ毎月参加し、情報共有や相談支援</p> <p>4. 介護予防ケアマネジメント業務</p> <p>目的  基本チェックリスト該当者（事業対象者）、要支援1, 2に対して、介護予防および日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて、対象者自らの選択に基づき、訪問型サービス、通所型サービス、その他の生活支援サービス等を包括的・効率的にマネジメントを行う。</p> <p>5. 生活支援コーディネーター業務</p> <p>目的  市町村が定める活動区域ごとに、関係者のネットワークや既存の取り組み、組織等活用しながらコーディネート業務を実施することより、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みを推進。</p> <p>(1) 協議体での活動  ・第1層協議体 年1回開催  ・第2層協議体 牛津町年5回 芦刈町年4回開催、4町合同年1回開催</p> <p>(2) 地域づくりの啓発活動  ・市民講座 年1回</p>
------	--

事業内容	(3) 地域資源の把握、ニーズ確認 ・毎月4町合同打合せ及び検討会											
	6. 認知症地域支援業務 目的 認知症の人とその家族の支援体制の構築および認知症ケアの向上を図る 取組み推進。											
	(1) 医療、介護サービス、地域との有機的な連携の推進 (認知症政策の打ち合わせ 年10回)											
	(2) 認知症ケアパス完成											
	(3) 認知症本人、家族の居場所づくりの推進 (カフェ、サロンの啓発 随時 地域型認知症サロン 1ヶ所開催)											
	(4) 認知症やその家族の相談や支援											
	(5) 認知症初期集中支援チーム検討会											
	7. チームオレンジコーディネーター業務 目的 認知症当事者も地域を支える一員として活躍し、社会参加することを後押しす るとともに、認知症サポーターの更なる活躍の場を整備する。											
	(1) 仕組みづくりに関する検討会の開催 ・オレンジ座談会(年7回開催)											
	(2) チームの立ち上げ支援基盤づくり ・認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の開催(年2回)											
II 指定介護予防支援事業 指定介護予防支援実績												
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防給付件数 (事業委託分を含む)</td> <td>2,590件</td> <td>2,555件</td> </tr> <tr> <td>要介護認定調査委託</td> <td>52件</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>住宅改修支援</td> <td>11件</td> <td>8件</td> </tr> </tbody> </table>		R4年度	R3年度	介護予防給付件数 (事業委託分を含む)	2,590件	2,555件	要介護認定調査委託	52件	12件	住宅改修支援	11件	8件
	R4年度	R3年度										
介護予防給付件数 (事業委託分を含む)	2,590件	2,555件										
要介護認定調査委託	52件	12件										
住宅改修支援	11件	8件										

# 介護保険事業

## 令和4年度 事業報告

事業名	居宅介護支援事業		
所在地	小城市芦刈町三王崎1522番地（芦刈保健福祉センター ひまわり）		
対象者	介護保険 要介護認定者		
事業の種類	居宅介護支援	担当者	地域生活支援課 牧瀬、卯野木、平野
営業時間	月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時15分 但し、国民の祝日及び12月29日から1月3日までを除く		
運営方針	利用者・家族の意向を尊重し、中立公正な自立支援		
職員体制	介護支援専門員 3人《その内管理者1名兼務》		
実施地域	小城市内(原則)		
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 在宅医療・介護の連携と生活支援の充実		
実施内容	<p>1. 方針</p> <p>①常に利用者の立場になり、利用者が住み慣れた環境の中で、自分らしく、尊厳ある生活ができるように、自立への支援に努める。</p> <p>②利用者・家族の意向や心身の状態を考慮し、保険者・地域包括支援センター・医療機関・サービス事業所等とも連携を図り、支援する。</p> <p>2. 内容</p> <p>・相談援助、ケアプラン作成、サービス調整、更新認定調査等</p> <p>3. 利用者</p> <p>・利用者 70人(令和3年度 68人)</p> <p>・契約者 80人(令和3年度 69人)</p> <p>4. 実績</p> <p>① 居宅介護支援 年間 延 938人(令和3年度 延べ 931人)          &lt;介護度別&gt;介護1 延 396人 介護2 延 227人 介護3 延 163人          介護4 延 79人 介護5 延 73人</p> <p>② 介護認定調査 年間 14件（令和3年度 14件）</p> <p>5. 介護支援の流れ</p> <p>①介護申請→認定調査→介護認定→居宅介護支援の契約</p> <p>②利用者や家族に意向確認→ケアプラン作成→サービス調整          →サービス担当者会議→サービス利用開始→自宅に定期訪問          →モニタリング(評価)・来月の利用票配布(利用確認)→介護請求</p> <p>③ 住宅改修の支援、福祉用具の購入支援、更新認定調査、相談援助等</p> <p>6. 介護支援専門員の研修に参加、自立支援型ケア会議への参加          小城市南部サービスネットワーク部会への参加</p>		
特記事項 (課題等)	<p>・利用者や家族の意向を確認し、可能な限り自宅で自立した毎日を過ごせるように総合的な介護サービスを提供していく。その為、職員の研修やミーティングを充実させ、スキルを向上させていく。</p> <p>・地域の医療機関、民生委員・児童委員、サービス事業者、包括支援センター等と連携を取り、地域住民の方や介護認定の方への支援の共有、検討を実施した。今後も地域の課題に着眼し、地域に根づいた総合的支援を行う。</p> <p>・各種研修や自立支援型ケア会議に参加し、サービス事業者、医療機関等と情報交換・共有を行い、支援援助のスキルアップ、多職種職員との交流を深めた。今後も会議や研修等に参加し職員の資質向上に努める。</p>		